

令和 5 年 度

事業計画書

社会福祉法人 銚子市社会福祉事業団

目 次

I	法人の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	社会福祉法人銚子市社会福祉事業団組織図・・・・・・・・	2
III	評議員会及び理事会等の開催計画・・・・・・・・	3
IV	事業団本部事務局の事業計画・・・・・・・・	4
V	各施設事業計画	
1	特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護 老人ホーム松籟の丘・・・・・・・・	6
2	ショートステイ松籟の丘・・・・・・・・	9
3	ケアマネージメントハウス松籟の丘・・・・・・・・	10

I 法人の基本方針

社会福祉事業の主たる担い手として、地域社会における公益的なサービスを効果的かつ適正に実施するため、経営基盤の強化を図るとともに、事業経営の透明性の確保を図り、法人の理念である利用者及び市民に寄り添った地域福祉を実現するため、地域との連携を一層深め、次の社会福祉事業を実施する。

1 第一種社会福祉事業

- (1) 特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘の経営

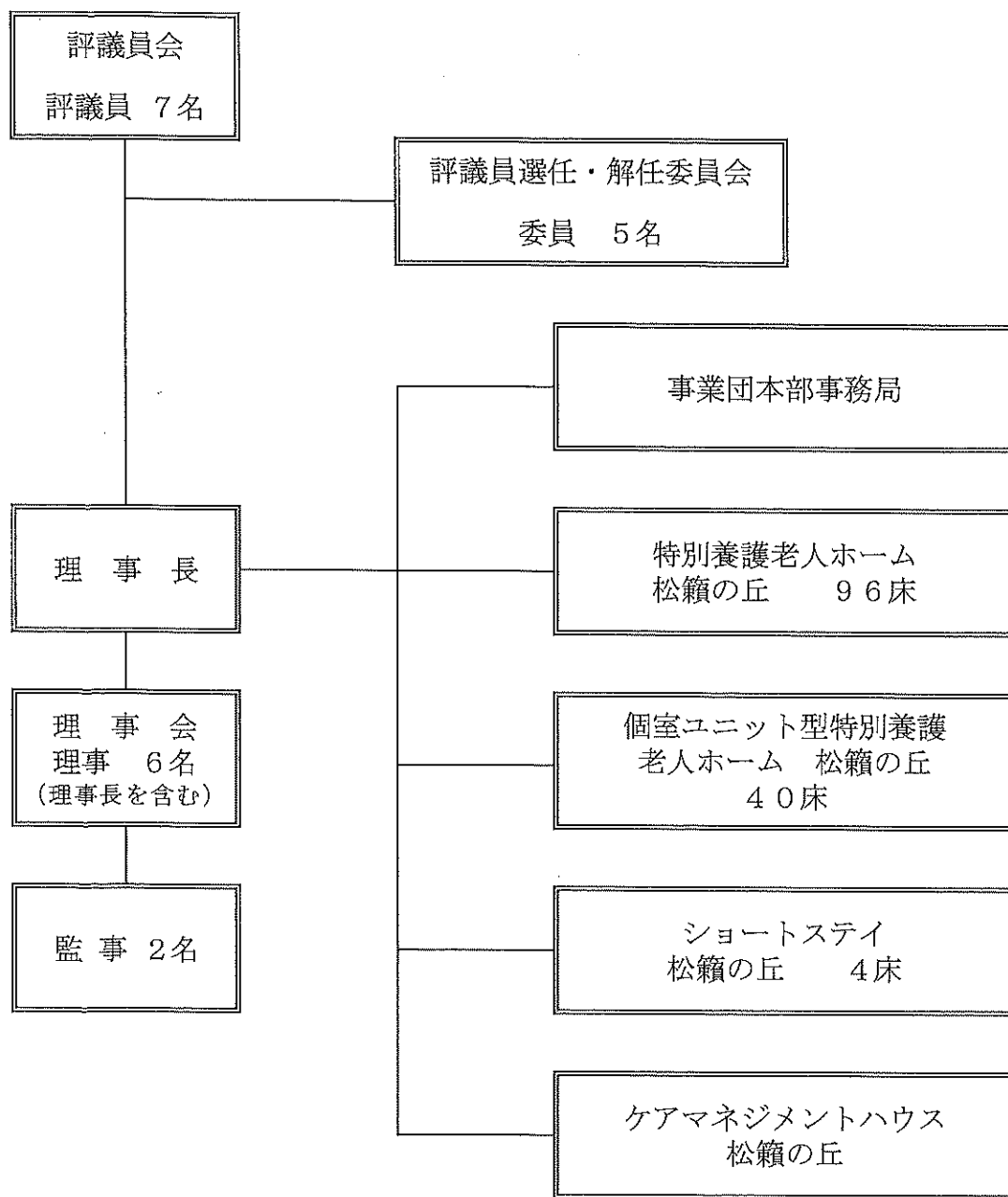
2 第二種社会福祉事業

- (1) 短期入所生活介護事業（ショートステイ松籟の丘等）の経営

3 公益事業

- (1) 居宅介護支援事業（ケアマネージメントハウス松籟の丘）の経営

II 社会福祉法人銚子市社会福祉事業団組織図



Ⅲ 評議員会及び理事会等の開催計画

評議員会	令和5年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 その他
	令和6年 3月	次年度事業計画 会計予算関係 その他

理 事 会	令和5年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 評議員会議案 他 理事長の職務の執行報告
	令和5年 9月	理事長の職務の執行報告 会計予算関係 その他
	令和5年12月	理事長の職務の執行報告 その他
	令和6年 3月	次年度事業計画 会計予算関係 評議員会議案 他 理事長の職務の執行報告

監事監査	令和5年 5月	会計決算関係
------	---------	--------

IV 法人本部の事業計画

1 健全な法人経営の推進

法人としての業務全般、予算、決算及び事業計画等に関して、定時評議員会のほか、随時理事会及び評議員会を開催・運営審議し、事業の活性化と健全な法人経営を図る。

2 今後の事業計画

指定管理事業として、長い間、管理運営してきた銚子市海鹿島保育所が2022年度末をもって閉所となり、介護保険事業である特別養護老人ホームの経営のみとなる。

地域包括ケアシステムの構築を念頭に、今後の新たな事業展開を見据え、10年後の法人のあり方を検討し、その実現のための計画づくりを進める。

3 地域における公益的な取組

社会福祉法人は、社会福祉事業に係る福祉サービスの供給確保の中心的役割を果たすとともに、地域社会に貢献していくことが求められている。

昨今、地域社会が抱える課題は、社会的孤立をはじめ、介護と育児のダブルケア、8050問題など複雑かつ複合化しており、銚子市においては人口減少、少子高齢化が加速し、地域力の衰退、地域社会を取り巻く課題が山積している。

このような状況を踏まえ、今年度は当法人として様々な課題への地域アセスメントを行うとともに、社会福祉法人として地域への貢献事業を実践しながら、今後の事業の方向性について模索していくものとする。

その具体的な取組として、野尻町の空き事務所を活用して、地域住民の総合相談支援を行う「ふれあい相談所のじり（仮称）」を開設する。

また、孤独・孤立対策の一環として「子ども・高齢者の居場所づくり」を視野に入れた「みんなの食堂（仮称）」を地域住民の方々と協力しながら開催し、地域に根ざした活動を通じて、地域住民の方々が「ここで暮らしてよかった」と思える地域づくりに寄与するものとする。

4 職員の労働環境整備

「魅力ある職場、働き甲斐のある職場づくり」を法人全体で考え、法人理念に掲げる「職員の生活を守り、福祉を支える人材育成に取り組み

ます。」を実現していく。

(1) 未来を担う人材育成のための福利厚生事業の展開

少子化対策は国の最重要課題であり、子育て環境の向上は社会全体で取り組むべき課題である。

子育てする年齢層は、業務経験を重ね、豊かな職歴をもつ世代であり、今後当法人の未来を担う重要な人材である。

安心して子育てしながらシフト体制による勤務ができるような職場環境を整えることにより、人材確保の面で効果が期待できることから、職員の福利厚生事業の一環として「子ども預かり所」を試行的に開設する。

なお、この「子ども預かり所」の担い手には、海鹿島保育所の保育士を活用する。

(2) 職員の労働環境整備

定期健康診断やインフルエンザ予防などを通じて職員の健康管理を把握し、併せてストレスチェックを行うなど心の健康管理にも努める。

V 各施設の事業計画

1 特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘

(1) 基本方針

団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となる2025年を目前に、医療・介護サービスの体制強化が図られてきたが、2019年度末から、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、感染対策中心の事業運営が続いている。国は、間もなく感染症法上の分類上大きな緩和に向けて転換しようとしているが、高齢者へのリスクは変わりなく、今後、どのように新型コロナウイルスと共存し、その対応をしていくべきか、状況によって難しい判断を要すると思われる。いずれにしても、利用者に寄り添い、一つひとつ課題と向き合いながら、リスク管理を意識し、バランス感覚を持って柔軟に対応したいと考える。

「ここで暮らしてよかった そう思っていただけ支援を目指します」という松籟の丘理念の下、質の高い個別ケアで、その人らしい暮らしを支援できるよう、職員個々のスキルアップとチームワークの強化に取り組む。利用者はもちろん優秀な人材にも選ばれる施設となれるように、松籟の丘としてのブランド化を目指して、次の重点目標を掲げ進める。

(2) 重点目標

ア 業務継続計画（BCP）の作成

感染症や自然災害等様々な障害を想定し、必要なサービスを切れ目なく継続的に提供するための予防策や対応策を予め検討し、業務継続計画（BCP）を作成する。また、職員一人ひとりの防災意識を高め、地域と連携した対応の強化に努める。

イ 個別ケアの充実

専門職として質の高い個別ケアの提供に向け、研修等を活用して個々のスキルアップを図り、チームワークを強化して松籟の丘理念の実現を目指す。また、施設全体で認知症への対応力向上と看取り介護の更なる充実を目指し、最期までその人らしい暮らしの継続を支援する。

ウ 人材の確保と育成

安心して働きやすい職場として、また質の高いサービスを提供で

きる場所として、優秀な人材に選ばれる施設を目指す。個々に合わせて丁寧な指導を行い、優しく心豊かな職員を育て、施設の中核を担う人材育成を図る。

エ 経営の安定化

松籟の丘及び個室ユニット型松籟の丘共に98%の稼働率維持を目指し、入院や退所に伴う空床期間の削減と各種加算の取得を継続して介護報酬の安定化に努める。

オ 経費削減

物価が高騰する中で、施設全体で経費削減への意識を高め無駄を省くように努める。特に、節電と残食を減らすための取り組みを進める。

カ 施設整備

令和4年度に作成した松籟の丘改修工事中期計画に沿って、計画的に施設整備を進める。また、快適な居住空間であり続けるための整理整頓と環境美化に努める。

キ 地域福祉の拠点としての活動

医療や福祉学生等の実習は、社会に出る前の重要で貴重な実践体験であることから、可能な限り前向きに受け入れ、地域福祉の拠点として医療・福祉人材の育成に寄与する。

また、個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘は、令和5年2月に一般社団法人日本ユニットケア推進センターユニットリーダー研修実地研修施設として指定を受けた。今年度から研修の受け入れが始まることから、その役割を十分に理解し、実習生と共に学び、より良いケアを提供できる施設としてユニットケアの普及と活動に貢献する。

(3) 年間計画

月	施 設 の 行 事	支援関係・その他
4	さくら祭り（お花見） 家族会	
5	ドライブ （こいのぼり、紫陽花見物ツアー） 運動会	防災避難訓練
6	歯科検診	寝具交換
7	夏祭り	定期健康診断（レントゲン撮影）
8	ビアパーティー	施餓鬼供養
9	敬老祝賀会	定期健康診断（採血） 夜間防災訓練
10	さんま祭り ワンデーデパート	館内特別清掃
11	いきいき祭り 居酒屋	インフルエンザ予防接種 寝具交換
12	海鮮パーティー 忘年会	
1	新年祝賀会 焼いも大会	
2	節分 焼いも大会	防災避難訓練
3	もちつき大会	

2 ショートステイ松籟の丘

利用者が穏やかに在宅での生活を継続できるよう、24時間シートを活用したアセスメントを行い、利用者、家族のニーズをしっかりと把握し、ケアプランに沿った対応に努める。

また、ショートステイを利用することで、家族だけでなく、利用者も心身ともにリフレッシュができるよう支援する。利用中は、利用者の健康状態を細かく観察し、変化等への早期対応で重度化を防止し、予測を含んだ見守りを行うことで事故防止を図り、安心・安全に利用できるサービスの提供に努める。在宅サービス事業所や多職種との連携を密にし、必要なサービスを切れ目なく継続的に提供する。

引き続き、感染予防対策の強化と徹底を図り、平均稼働率85%を目指す。

3 ケアマネージメントハウス松籟の丘

現在の特別養護老人ホーム松籟の丘の併設事業所から、地域へ事業所を移設し、居宅介護事業所としてのケアマネージメントのほか、地域への新たな事業活動を進める。

住宅地に近い事業所となり、地域交流の場、拠点作りや頼りになる居宅介護支援事業所となり得るように、理念『Always be yourself 〜いつまでも あなたらしく〜』の実現を遂行できるように努める。

更に、加速する少子高齢化、住民の減少が顕著となっていく中、特定事業所として質の高いマネージメントの安定化、業務継続計画（BCP）の策定やマニュアルの整備を行う。

(1) 具体的な方針

ア 地域貢献の一旦を担うため、気軽に立ち寄れる茶処（井戸端スペース）などの催し物の開催

イ 地域活動への参加（町内、グループ活動、防災訓練、祭事、地域の行事）

ウ 近隣の施設、サービス業者、駐在だより及び商店などに居宅介護支援事業所のPR用チラシを配布する。

エ 特別養護老人ホーム松籟の丘のリアルタイム広報（松籟の丘だより、ちょうし広報、オレンジカフェ、プラチナ体操、地域の活動のチラシ）を掲示し、地域への情報発信に努める。